

**出演者・出店
受付
8月1日
スタート**

大募集!!

輝け子どもたち、青い地球に平和の風を、大人も子どももよといで

第30回 吹田よといで祭

テーマ はじめる

9月16日(日)

午前10時～午後3時半 小雨決行

千里南公園

阪急南千里駅下車北へスク

科学のあそび 舞台・ひろば 福祉・大バザー

受付は当日おこないます
シャボン玉(ぶんぶん玉)

子どもたちのアピールから
なんでもパフォーマンス
舞台・各ひろばで催しあいはい

楽しい買い物
模擬店・フリーマーケット

車でのご来場は
ご遠慮ください

主催 吹田よといで祭実行委員会
吹田市泉町1-3-40 吹田市役所内 吹田市職員労働組合気付
TEL 06-6386-4428 FAX 06-6386-4434

9月15日(土) 午前6時30分～
子ども映画会 ジャズ生演奏

出でこい 出たがり!? なんでもパフォーマンス

応募資格 ジャンルは問わず、ボーカル・ピュア音楽、うた、楽器演奏、ダンス、漫才など何でもOK。ただし、メンバーに吹田在住者（または、在勤・在学）の者がいること、または、吹田市内で活動されている個人・団体であること。中学生・高校生も大歓迎です。

実行委員会に問合せの上、指定の申込用紙に必要事項を記入し、DVD（ビデオ）・CD等を添えて、実行委員会に提出を。
郵送・持参とも8月17日（金）必着。

ライブ 普天間かおり
9月16日(日)午後

雄大にして繊細な歌唱力。自身のルーツとなる沖縄音楽に独自の解釈を加え歌い継ぐスタイルや、平和家族などに視点を置いて人を見つめる温かな楽曲の世界をお届けします。

バザーにご協力ください

福祉・大バザー

問い合わせ 工房ヒューマン TEL 06-4860-0539 (担当:西沢)

商品の提供をお願いします!!
手で持って運べるもので新品もしくは新品同様のもの——小型電化製品・日用雑貨・衣料品など

車でのご来場はご遠慮ください
きれいに使おうみんなの公園

主催／吹田よつといで祭実行委員会

吹田市泉町1-3-40 吹田市役所内 吹田市職員労働組合気付
TEL.06-6386-4428 FAX.06-6386-4434

車でのご来場はご遠慮ください
きれいに使おうみんなの公園

ロンドンオリンピックもいよいよ開幕。個人的には女子サッカーだが、それぞれの競技の行方に熱くなるむきも多いだろう。しかし、橋下大阪市長があおる「競争」には、冷静に対したい。それは、レース・トゥ・ザ・ボトム=「底辺への競争」だ。

大阪市24区の公募区長が決まり、橋下市長は「他の区よりも1歩でも2歩でも住民サービスを充実させるため、『競争』をキーワードに頑張ってほしい」と激励した。しかし、大阪市の行政サービスは「ぜいたくだ」と全面的に削減、まして「市長の命令は絶対」というのだから、住民サービスの充実どこ

フォーカス focus

底辺への競争

企業や観光客を誘致し、大阪の経済成長を図る。彼らが描く成長戦略だが、かつての堺・泉北コンビナートでも、阪奈学研都市でも、関西空港でも、都市間「競争」勝利のために、環境や雇用、住民生活は

性にされた。しかも、大阪経済は良く
るどころか落ち込む一方。大阪府や大
市は財政赤字を抱え込んだ。もうこん
なににつきあってはいけない。

大人ばかりか子どもの自殺が問題となっている。激化する競争社会の犠牲者ともいえる。東日本大震災をきっかけに、何よりも人間の命とくらしを大切にする「成長」や「発展」のあり方が問われている。被災地支援で、また発展問題で、新たな連帯をうみだしつつある。「競争」をキーワードにする者たちの目には、決して映らない現実、そして未来である。



3さんはガスバーナーで焼かれた。2日間気を失ったという

Aさんは、さつき見てきたタツカラの町でデモに参加していた。6ヶ月前のこと。突然デモに戦車砲が撃ち込まれた。即死者、血だらけになつて逃げ回る人、その場で倒れ込む人々。彼は負傷して道に倒れ込んでしまつた。軍がやつて來た。彼らは道ばたに倒れたデモ参加者たちを、次々に射殺していくつた。自分の番が來た。死を覚悟した。ピストルで背中を擊たれ意識を失つた。

軍が帰ると、次に来たのがゴミ収集車。トラックに積み上げられた遺体は一ヵ所にまとめて投げ捨てられた。

近所の人々が泣きながら息子や従兄弟の遺体を埋葬しようと思つてやつてきた。イスラムは土葬で、埋める前に身体を洗い、清めなければならぬ。Aさんの遺体を洗おうと思つたら、まだかすかに息があつた。

まだ死んではいない！

そう確信した近所の人々は

自由シリア軍に連絡して、秘密裏に国境を抜けて、この町へと運んだ。

この時の虐殺は、少なくとも40人以上と言われている。そして助かったのはAさんを含めてわずか3人だ。

Bさんは6ヶ月間ホムスの刑務所に拘留された。Bさんが衣服を脱いでくれたとき、私は息を飲んだ。全身の皮膚がむけて白い肌が露出している。

ガスバーナーで焼かれたのだ。足や手、腹に背中

10センチ程度の、鉄板をも貫く威力。銃弾がもう少し上に、つまり下腹部に当たつていたら即死だった。

この病院で「奇妙な患者」を見た。奇声を上げ、全身をブルブルと震わせている。髪の毛はごつそりと抜け落ち、目はうつろ。「化学兵器だよ」。医師がケミカル、ケミカル（化学）と連呼する。神経マヒガスを撃つたのか？

もしシリア軍が化学兵器を使用したとすれば、

和平に向け国際社会ができるることはなにか

比べ、自由シリア軍の武器は貧弱で、戦闘行為になれば、アサドが勝つ。しかし市民の中に燃え上がった「アサド政権打倒」の炎は簡単には消えない。残念ながら、この紛争は長引くだろう。アサドは弾圧の手を緩めれば、自分がカダフィーやフセインのようになると分かっているので、徹底的に「反乱分子」を虐殺、弾圧していくだろう。早急にアサド政権と反アサドの代表がア人同士、つまりアサド停戦合意することが必要。その和平合意を、国際社会がお膳立てすることだ。

例えば、ロシア、イランなどがアサドの身柄を受け入れ、亡命させるというのも1つの手段だ。アサドという虐殺のシンボルを追放すれば、歩み寄りも可能なのではないか？ 難民たちや戦争被害者たちは必要な支援を行いながら、和平に向けた何通りもの提案を、国際社会が粘り強く行つていかねばならない。